

NEC 照明器具 保証書

安全に関するご注意

明るく安全に使用していただきため、以下の項目にご注意願います。

△ 安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火、感電などに至る恐れがあります。
- 使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。

安全チェックシート

1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検してください。

●安全のために1年に1回は点検をおすすめいたします。

●右欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に○印を記入し、処置手順に従ってください。

右記点検項目以外でも不具合があれば、ご購入した販売店・工事店・メーカー等の専門家にご相談ください。

〈保証について〉

保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、安定器(インバータパラスト含む)は3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
ランプ、グローポンチ管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。
1.お客様の取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、商品一式と本書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
保証期間を過ぎている時はお買上げの販売店・工事店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
2. つぎのような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(1) 使用上の誤り、あるいは改造や分解、不当な修理による故障および損傷
(2) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、溶落等による故障および損傷
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷

形名	保証 本体 1年 期間 女定器 3年	★お客様	★ご販売店	見本
保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。 ★印欄に記入のない場合は有効となりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。				
点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火、感電などに至る恐れがあります。				
※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)				
● 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。				
● 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。				
安全点検項目	点検結果	処置手順		
1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。				
2. プラグ・コードや本体を動かすと点滅する。				
3. プラグ・コードなどが異常に熱い。				
4. こげくさい臭いがする。				
5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。				
6. コード・ソケット・配線部品に傷みやひび割れ、変形がある。				
7. 購入後、10年以上経過している。				
8. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。				
9. カバー・パネルなどに変色・変形・ひび割れなどがある。				
10. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。				
11. 器具取付け部に変形・ガタツキ・ゆるみ等がある。				

NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17

〒105-0014 http://www.nelt.co.jp/

〈お客様相談室〉

フリーダイヤル 0120-52-3205

受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)

FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

NECスマートメイド

取扱説明書

保証書添付 保存用

安全上の注意

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告表示の図記号と用語について」

△警告 とは誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

○:絶対に行わないでください。

△注意 とは誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・財産などの損害を結びつくもの。

! :必ず指示に従い、行ってください。

△警告

しきうろ工事は危険です。

△電源の工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。
一般的の方の工事は法律で禁止されています。

△部品の追加や改造は絶対にしないでください。

△火災・感電の原因となります。

△器具の取付(施工)は、器具の取付方法にしたがい確実に行ってください。不確実な取付(施工)をしますと、器具の落下・火災・感電・けがの原因となります。

△電源線接続は確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接触不良による発熱、火災の原因となります。

△風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。

△漏電し、火災・感電の原因となります。

△器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込むと危険です。

△器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

△お手入れの際は、水洗いはしないでください。

△火災・感電の原因となります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

△布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

△ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された適合するランプを使用してください。指定以外(適合しない)ランプを使用すると、火災の原因となります。

△ランプ交換等によりカバー、本体などを外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。

△完全に取り付けると、器具の落下・火災・感電・けがの原因となります。

△ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

△ヒキヒモにぶらさがったり、強くひっぱらないでください。落下・けがの原因となります。

△ヒキヒモで遊んだり体に巻きつけたりしないでください。けがの原因となることがあります。

△注意

△表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

△点灯中及び消灯直後はランプが熱いので手や肌などをふれないでください。やけどの原因となることがあります。

△壁付調光器のある回路では使用できません。

△照明器具が故障します。



この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し感電・火災の原因となることがあります。

△ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。消灯直後にランプ及びランプの周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

△明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで、工事店、電気店に修理を依頼してください。

△使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

△壁スイッチのみで使用される場合は、時々プラススイッチの操作を行ってください。スイッチ機能が損われ、火災の原因となります。

△ヒキヒモに物を吊るさないでください。

使用上の注意

●照明器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

●ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

△ランプ破損の原因になります。

●この器具は屋内専用です。5°C~35°Cの範囲内で使用するようにしてください。

●ご購入後の初期点灯時にランプの電極付近が黒くなっていますが、しばらく点灯しておくと消えます。

●正しい性能を維持するため、蛍光ランプを必ず2灯取り付けてご使用ください。

●このような状態になりましたら、器具のワット数に応じたランプに取替えてください。(寿命です)

△点滅を繰り返すとき。

△明るさが低下したとき。

△ランプが正常に点灯しないとき。(安全の為、ランプが寿命の場合は保護が働き、ランプが一瞬点灯した後に消灯します。)

●ランプはランプケットに取付けてください。

●ストーブなど、温度の高くなる物の真上やその付近、および水や湿気のかかる場所では使用しないでください。

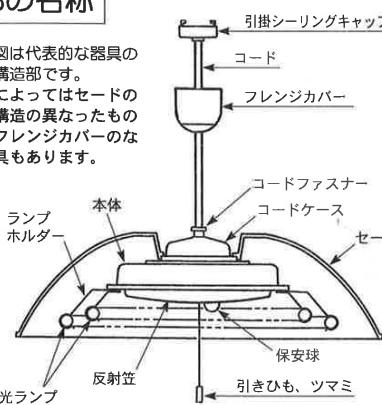
●周囲の温度が高くなると、段階的に明るさを調整するためランプがチラついて見える場合があります。

必ず電源を切り、
ランプが冷えてから
取り替えてください。

器具の取付方法

各部の名称

注) この図は代表的な器具の部品構造部です。
機種によってはセードの取付構造の異なるものや、フレンジカバーのない器具もあります。



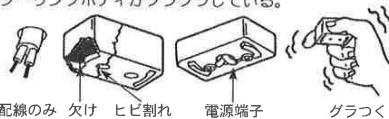
1 取付前の確認

■取付できない天井と引掛シーリングボディ

下図の場合は、電気工事店が販売店に依頼してください。

**電源工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。**

- 引掛シーリングボディが取付けられていない。
- 引掛シーリングボディが破損している。
- 電源端子露出型引掛シーリングボディが取付けられている。
- 引掛シーリングボディがグラグラしている。



2 コードケースを下図のように器具本体背面の切起部3ヶ所にはめて回り止め用ストッパーを、本体の穴に曲げ込んでください。



- 印を合わせて、3個のツバを本体の切起部に完全にはめてください。コードケースを左に回して外れないことを確認してください。
- 必ず回り止め用のストッパーを本体の穴に曲げ込んでください。コードケースを左に回して外れないことを確認してください。

点灯順序

引きひもの操作をすることで次の点灯順序となります。

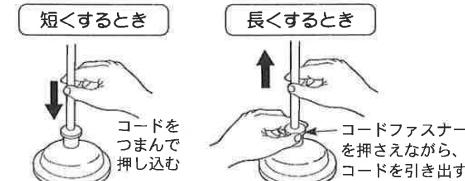


■壁スイッチのみで使用される場合は、時々、引きひも(プラスイッチ)での操作を行ってください。

長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障することがあります。

3 コードの長さを決めてください。
—あらかじめ天井と器具の間隔を決め、下図の要領でコードの長さを調節します。

コードの長さを調節したらコードファスナーを引き上げてコードを固定させてください。



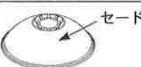
注)コードファスナーが斜めになっていると器具が傾くことがありますので、コードファスナーは水平になるように調節してください。

4 セードの取付

※セードは機種によって異なります。

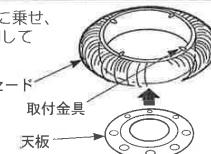
セードとセードの本体に乗る部分が一体の場合

コードをセード中央穴に通し、
セードを本体にのせてください。



セードとセードの本体に乗る部分が分離している場合

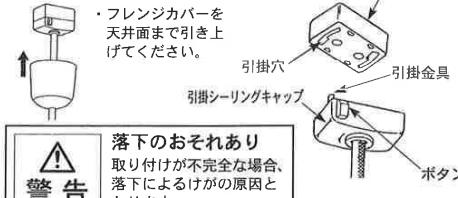
本体に乗る部分(天板)を本体部に乗せ、
セードについている取付金具を回して
セードを天板の上に乗せる。



5 引掛シーリングキャップを持って天井の引掛シーリングボディへ引っかけてカチッと音がするまで、右に回して器具を吊り下げてください。

ボタンを押さずに左に回して引掛けシーリングキャップが外れないことを確認してください。

器具を取り外すときは、ボタンを押しながら左へ回してください。



落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、
落下によるけがの原因となります。

ランプ交換の方法

ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

7CKの場合

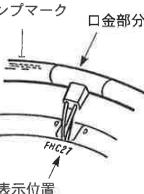
1 FHC20ランプの取付

①FHC20ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC20ランプの口金部分は反射笠のFHC20表示位置より少しずらした位置に合わせてください。
②ランプソケットをFHC20ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



2 FHC27ランプの取付

①FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせてください。
②ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



ランプ交換時の注意事項

- 電源を切ってランプを反射笠に表示されているランプの種類に合わせて交換してください。
- より安全、確実にランプ交換していただくために、また清掃も兼ねて照明器具を下へ下ろしてお取り換えてください。
- ランプ取付時は上図のようにランプの位置、ランプソケットのコード位置を調整してください。
- 蛍光ランプおよび保安装球をランプホルダーで弾かないでください。
- 蛍光ランプの口金は多少動くようになっておりますが、無理に回さないでください。



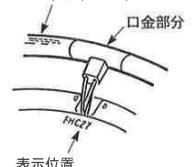
消灯直後は高温になっていますので注意ください。

この器具は、FHC(高周波点灯専用環形蛍光ランプ)専用です。

9CKの場合

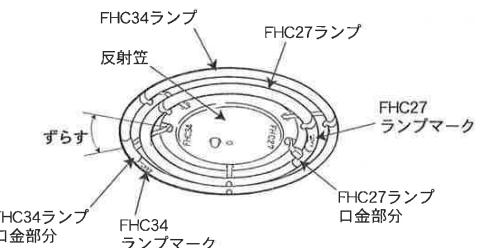
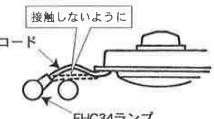
1 FHC27ランプの取付

①FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせてください。
②ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



2 FHC34ランプの取付

①FHC34ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のように(FHC34)ランプの口金部分は反射笠のFHC34表示位置から少しずらして取り付けてください。
②ランプソケットをFHC34ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。
③ランプソケットのコードが内側のランプに接触しないように調整してください。



定格

型式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安装球	始動方法
20形 + 27形 (弊社形式: 7CK***)	AC100V (交流)	50Hz / 60Hz	66W	FHC20 FHC27	E12なつめ球 (5Wまで)	インバータ式
27形 + 34形 (弊社形式: 9CK***)			76W	FHC27 FHC34		

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため必ず電源を切ってください。

- ・明るく安全に使用していただきため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃と点検してください。
- ・ベンジン・シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水中につけて洗うことは絶対にさけてください。

- ・セード等、樹脂部分の汚れを取りときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。
その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。
- ・セード(和紙及び布等)の汚れを取りときは、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
- ・木製の部分は、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
- ・照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は8年~10年です。

故障のときの処置

ご使用中に異常が生じたときは右表を参考にお調べください。

右表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC商品取扱店へご相談ください。

なお連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

形式名は器具本体部に貼り付けてある器具ラベルに表示しております。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	○スイッチがオフになっている ○蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない ○蛍光ランプの寿命 ○指定ソケットへの差し違い
保安装球が点灯しない	○保安装球のゆるみ ○保安装球の寿命
いずれも点灯しない	○電源が切れている